

東アジア言語・文化交流領域
教授 村中 菜摘

専門分野

日本文学（中古・中世）
和歌 藤原定家
物語撰取・漢詩文撰取

学位・資格

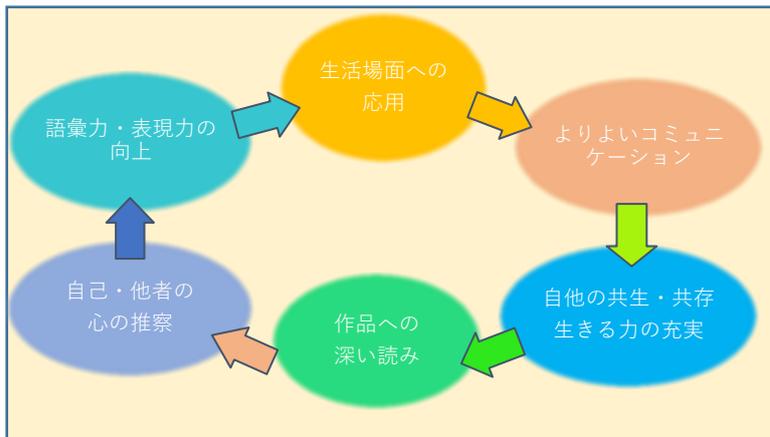
博士（文学）
日本和装教育協会 師範

研究者情報
(Research Map)



専門分野と社会との関わり

日本の文学作品に込められた作者の姿勢や登場人物の生き方を読み解くことで、人間の心の理解につなげ、自分を知ることで人生をよりよく生きるヒントを見つけることを目指します。加えて、文学作品に触れることで語彙を増やし、日本語の表現能力を培います。社会生活のなかで他者とよりよい関係を構くためには、相手の立場や気持ちを汲み取りつつ、自分の考えを適切に発信し、すり合わせる能力が求められます。日本文学作品の登場人物の心の動きや作者の表現意図を推察し、さまざまな日本語表現に触れることで、日常をよりよく生きるための思考力、他者への共感力、コミュニケーションのための日本語の表現力を磨きましょう。



最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

古典文学作品を通して「生きること」を考える

研究対象は藤原定家の和歌表現です。定家が和歌を作る際に『古今集』や『源氏物語』、『白氏文集』をはじめとする古歌や物語、漢詩文をどのように取り入れ、新しい表現を作り出そうとしたかを探究します。これは、貴族文化の象徴である和歌を後世に遺そうとした、定家の和歌表現追究の道すじをたどる作業です。

地域貢献活動では、岐阜市立女子短期大学公開講座で古典文学の講座を担当しました。日本文学作品の世界を味わう作業を通し、日々をよりよく生きるヒントを見つけることで、受講者の皆さんの日々の活力につなげることができたらと考えています。



授業紹介／ゼミ生による教員紹介

日本文学を楽しみながら学べる

村中菜摘先生は、日本文学を専門に教えていらっしゃる先生です。授業では古典から近代までの幅広い作品を通して、登場人物の心の動きや作品に込められた思いを、丁寧にわかりやすく教えてくださいます。作品の世界を一緒に味わっているような温かい雰囲気の中で、学生一人ひとりの感じたことを大切にしてくれます。村中先生のゼミでは、和やかな雰囲気の中で購読を楽しみながら、自由に意見を交わすことができます。さらに、卒論作成に向けては、一人ひとりに寄り添った丁寧なアドバイスをいただけるため、学びの幅を広げながら安心して考察を深めることができます。

